

**第79期 中間報告書**

(2020年4月1日▶2020年9月30日)

**Enabling  
Leading-Edge Technologies****株主のみなさまへ**

はじめに、新型コロナウイルスに罹患された方およびご家族の方に心よりお見舞い申し上げます。また、この感染症の予防と治療に従事されている方に、感謝の意を表します。

ここに第79期の中間報告書をお届けします。

当年度上期の当社をめぐる事業環境を振り返りますと、米国による中国への規制強化や新型コロナウイルス封じ込めのための都市封鎖、人的移動制限など、需要を弱含みさせる要因もありましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大を背景としたリモートワークの普及や巣ごもり消費の拡大により、データセンターやゲーム機器向けの試験装置需要が伸びました。

これらの結果、当年度上期の受注高は1,256億円、売上高は1,441億円、営業利益は309億円、当期利益は245億円となりました。

今後の事業環境を展望しますと、米中対立の先鋭化のもと、SoC半導体用試験装置は全般的に厳しい環境にあります。スマートフォンメーカー間の競争の活発化を背景に、一部SoC半導体では試験装置需要に対する回復感が顕在化しています。メモリ半導体用試験装置においては、積極投資がここ数四半期続いたことから下期の売上高については反動減を予想していますが、メモリ半導体の高性能化を背景に、顧客各社からの堅調な引き合いを見込んでいます。

2020年度通期の業績予想につきましては、受注高を2020年7月時点の2,400億円から2,600億円へ、売上高を2,600億円から2,750億円へ、営業利益は450億円から525億円へ、当期利益は358億円から425億円へ、それぞれ上方修正しました。

当社は、2027年度を最終年度とする中長期経営方針「グランドデザイン」の目標として掲げた売上高3,000億～4,000億円の達成に向け、全社一丸となり邁進してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

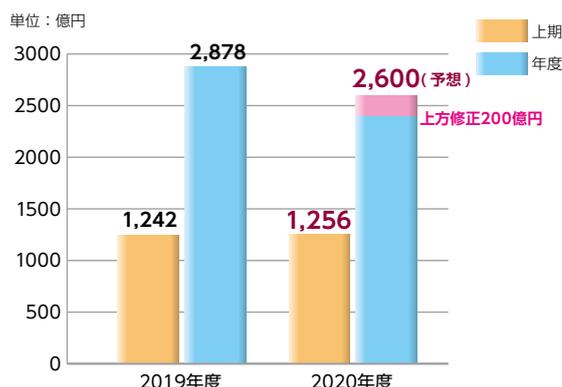
代表取締役兼執行役員社長(CEO) **吉田 芳明**

## 決算ハイライト (2020年4月1日～2020年9月30日)

### 受注高 1,256億円 [前年同期比 1.1%増]

米中摩擦の先鋭化を受け、スマートフォン関連サプライチェーンからのSoC半導体用試験装置需要が減少した一方、イメージ・センサー、ディスプレイ・ドライバーIC向けSoC半導体用試験装置の受注高が第2四半期に伸びました。また下期のSoC半導体用試験装置需要には足元で回復感も見られます。

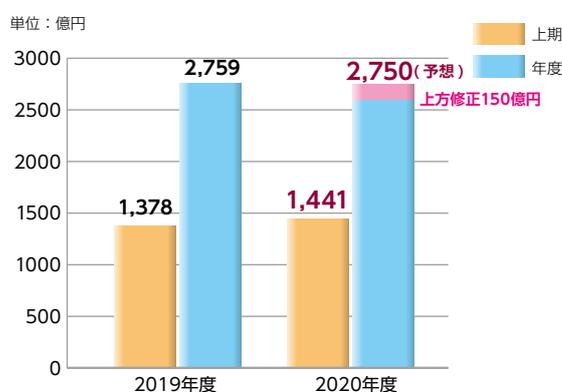
これらを踏まえ、受注高の通期予想を200億円上方修正しました。



### 売上高 1,441億円 [前年同期比 4.6%増]

メモリ半導体用試験装置は、サーバーやゲーム機器用の高性能メモリ半導体向けを中心に、好調な販売が続きました。また、M&Aで強化したシステム・レベル・テスト事業が順調に推移し売上高の底上げに寄与しました。またSoC半導体用試験装置も下期は上期比増収を見込んでいます。

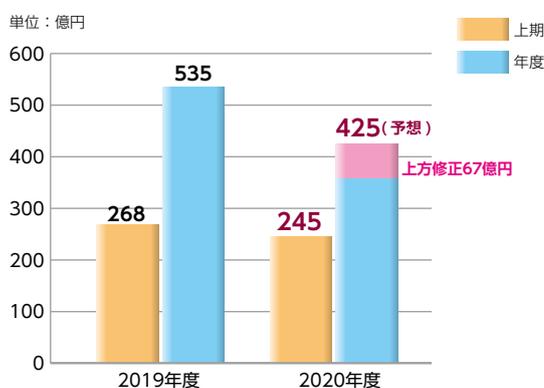
これらを踏まえ、売上高の通期予想を150億円上方修正しました。



### 当期利益 245億円 [前年同期比 8.5%減]

売上総利益率の良い製品群の売上割合が減少したことや米ドルに対するユーロ高の進行に伴う為替差損の増加により当期利益は前年同期比で8.5%の減少となりました。

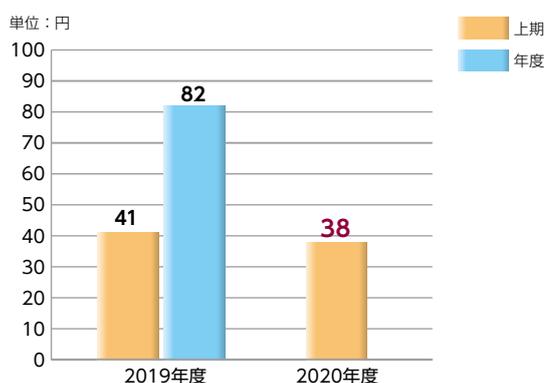
下期についても前年同期比減益を予想していますが、売上高予想の上方修正に伴い、当期利益の通期予想を67億円上方修正しました。



### 1株当たり配当 38円

株主の皆様への中間配当金につきましては、1株につき38円とし、2020年12月1日を支払開始日といたします。

当社は、持続的な発展と中長期的な企業価値の向上が株主利益への貢献の基本であるとの認識のもと、資本コストと財務健全性の双方を意識した経営を行ってまいります。



※ 財務諸表、計算書の詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.advantest.com/ja/investors/ir-library/financial-result-presentation>



# アドバンテストが目指すもの

当社は、経営理念である「先端技術を先端で支える」を体現する会社であり続けるため、当社がどうありたいか、何をなすべきかを定めた、2018年度を起点とする「グランドデザイン(10年)」を策定しております。

## グランドデザイン

### ビジョン：進化する半導体バリューチェーンで顧客価値を追求

グランドデザインで描いたビジョンを実現するため、アドバンテストでは様々な施策を実施しています。ここではその一部をご紹介します。

#### ① 既存事業領域強化

##### 新テスト・プラットフォーム「V93000 EXA Scale™」をリリース！

新テスト・プラットフォーム「V93000 EXA Scale™」をリリースしました。本製品は、昨年大幅なシェア拡大の大きな原動力となったV93000シリーズの最新機種となります。今後の5Gスマートフォンやデジタル革命に関わる高性能ICを測定するために開発したものです。

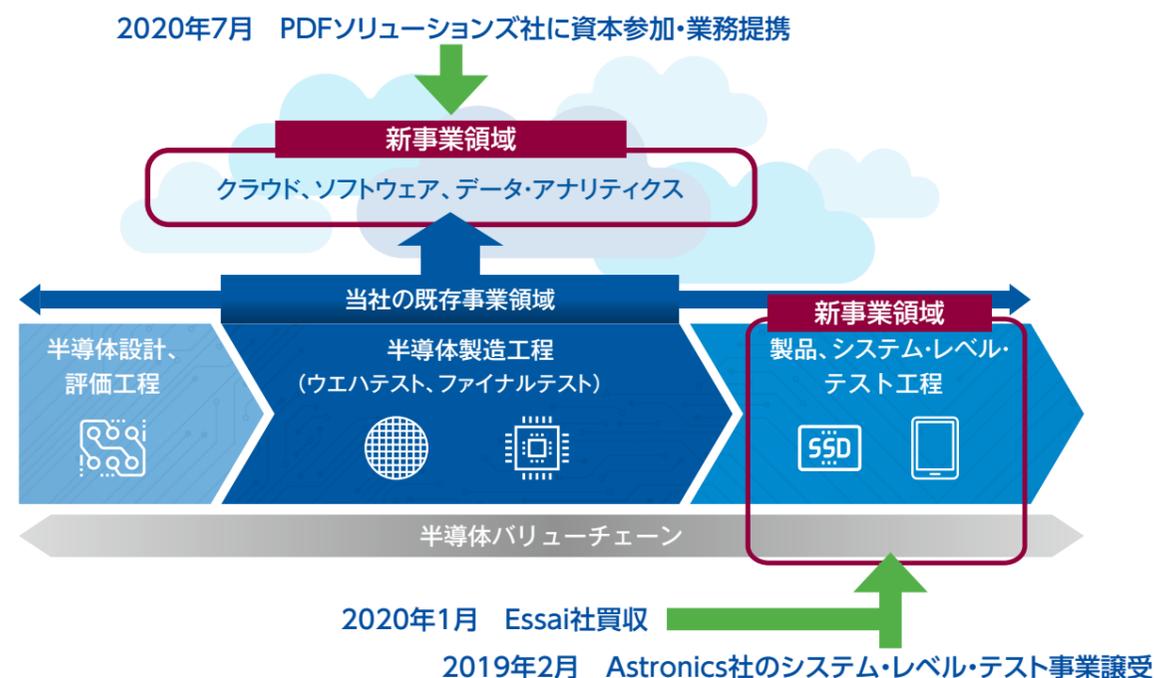
当社の次世代主力プラットフォームとして、半導体試験装置市場におけるシェア拡大を目指していきます。



#### ② 新事業領域の開拓

##### M&Aや資本参加・業務提携を積極展開！

既存事業領域の周辺分野を開拓するため、2019年2月のAstronics社からのシステム・レベル・テスト事業譲受を手始めに、2020年1月にはEssai社を買収し、2020年7月にはデータアナリティクスソリューションの最大手である、PDFソリューションズ社に資本参加し、同社と業務提携しました。



#### ③ 持続可能な未来へ貢献する

##### 「TCFD\*1」への賛同を表明し、「RE100\*2」に加盟！

当社は、「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」の提言に基づく情報開示の強化を進め、持続的な発展と企業価値の向上、および持続可能な社会の実現を目指します。

また、当社では気候変動に関する長期目標として、CO<sub>2</sub>排出量の100%削減を掲げております。気候変動という社会課題に対しグローバルに取り組む「RE100」に参画し、再生可能エネルギーのさらなる活用に取り組んでいきます。



\*1 国際機関である金融安定理事会(FSB)によって2015年12月に設立されたタスクフォース。2017年6月の最終報告書では、企業等に対し、気候変動関連リスクおよび機会に関する項目について情報開示することを提言した。

\*2 事業で使用する電力の再生可能エネルギー100%化にコミットする企業の協働イニシアチブ

※ 当社に関するより詳細な情報は統合報告書をご覧ください。

<https://www2.advantest.com/investors/ja/financial-highlights/integrated-annual-report/>



#### 自己株式の取得終了に関するお知らせ

当社は、2020年7月30日開催の取締役会において決議した自己株式取得に関し、以下のとおり自己株式を取得しました。

##### 取得にかかる事項の内容

(1) 取得対象株式の種類	普通株式
(2) 取得総数	2,494,600株
(3) 取得価額	13,077,323,000円
(4) 取得期間	2020年7月31日～2020年10月30日
(5) 取得方法	東京証券取引所における市場買付

# Web イベント LIFE.ON. 開催中!!

さまざまな機器に搭載され、私たちの暮らしを支える半導体。長い製造工程を経た半導体は、テストによって「信頼性」という名の命を吹き込まれ、社会に提供されます。

そうした半導体の社会的役割、そしてテストの価値を皆様に広く知ってもらいたいという願いから、WEBイベント「LIFE.ON.」がスタートしました。

## ここにも！半導体



社会のさまざまなシーンを支える半導体の価値を、分かりやすく紹介します。

<https://lifeon.advantest.com/semi/>

## 楽しく学ぶ SDGs



半導体が解決すべきさまざまな社会課題を、ゲームで楽しく学べます。

<https://lifeon.advantest.com/game/>

## テストがつなぐ信頼



テストで命が吹き込まれた半導体が社会で活躍する様子を、視覚的に表現しています。

<https://lifeon.advantest.com/test/>



## 新型コロナウイルスへの当社の対応

当社は、以下のとおり、従業員の安全を確保するとともに、お客様との継続性を重視しながら業務を遂行しています。

### ■ テレワークの推進

従業員はテレワークを活用し、出社・出張を伴わずに業務を遂行できる体制を構築しています。

### ■ 従業員の健康管理

発熱等の症状のある従業員については当社の危機管理本部にて状況を把握するようにしています。

多くの会議や集会をオンラインで開催しています。

### ■ 顧客へのサービス

お客様の事業継続に必要なサポートサービスについては、オンラインサポート等を活用しながら、通常レベルのサポートを継続しています。

### ■ 生産・物流対応

生産体制の見直しを実施し、製品供給と支援能力を維持してまいります。

また、サプライチェーンが寸断されるリスクの中で、安定的に資材・部品調達を遂行するための中長期BCP(事業継続計画)の見直しを実施しています。

## 新型コロナウイルスに対してアドバンテストができること

### 当社の「計る」技術を使い、新型コロナウイルス感染検査方法の研究をサポート！

当社の製品である「nanoSCOUTER™」が、新型コロナウイルスの短時間で識別に有効であることが確認され、その研究成果が大阪大学産業科学研究所の谷口正輝教授より発表されました。

新型コロナウイルスを短時間で検査・判定することは、感染の早期発見と拡大防止策の1つとして期待されています。今後の研究のため、当社は「nanoSCOUTER™」2台を大阪大学産業科学研究所に寄贈しました。

当社は引き続き、「先端技術を先端で支える」という企業理念のもと、計測技術開発を通じて社会課題解決への貢献を目指します。

※詳細は当社のプレスリリースをご覧ください。

<https://www.advantest.com/ja/news?articleId=4667598>



### 会社の概要 (2020年9月30日現在)

商号	株式会社アドバンテスト ADVANTEST CORPORATION
本店	東京都千代田区丸の内1丁目6番2号
本社	〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目6番2号 新丸の内センタービルディング TEL. 03-3214-7500
設立	1954年12月2日
従業員	5,211名(連結) ※上記従業員には、パートおよび嘱託従業員を含んでおりません。
上場	東京証券取引所第一部(コード: 6857)

(ご注意) ◆会計基準について

本中間報告書に記載されている見通し数値は、国際会計基準(IFRS)に基づいて作成しています。

◆将来の見通しに関する記述について

本中間報告書にて提供する情報には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれています。

これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。



※株式に係る各種お手続きにつきましては、こちらをご覧ください。

<https://www2.advantest.com/investors/ja/shares-and-corporate-bonds/share-information/>

**ADVANTEST®**

<https://www.advantest.com/>

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目6番2号 新丸の内センタービルディング  
TEL. 03-3214-7500



環境に配慮し、植物油インクを使用しています。